

平成30年度集団がん検診

受付は、5月頃より開始します。詳しくは、広報5月号に掲載します。

問合先 健康推進課



めた人は、健康マイレージポイントカードを持って、市役所3階健康推進課へお越しください。「このぼ」カードをお持ちの人は持参してください。

また、平成29年度分を交換された人の中から、抽選で5人に「このぼ」1万ポイントが当たります。当選された人には5月末日までに連絡します。

平成29年度分  
健康マイレージの交換は  
4月27日まで！

交換期限 4月27日(金) (土・日曜日除く)

問合先 健康推進課

20歳以上の人で、健康講座を受けたり、個人で立てた健康目標を実践したり、がん検診または特定健診(1項目の受診が必須)を受けて、50ポイントを貯

※この制度は、みなさんの健康づくりの促進と、健康の重要性を普及啓発することを目的としています。

政府主催慰霊巡拝

対象 戦没者の遺族(配偶者〔再婚した者を除く〕、父母、子、兄弟姉妹、参加する子・兄弟姉妹の配偶者、孫、甥姪)で原則80歳以下の健康状態の良好な人  
※初参加の遺族が優先  
問合先 障害福祉総務課



巡拝予定地域	実施予定時期	申込締切日
アルタイ地方・ケメロボ州・ノボシビルスク州	8月25日～9月4日	4月27日(金)
ハバロフスク地方	8月26日～9月4日	4月27日(金)
中国東北地方	9月4日～13日	5月9日(水)
イルクーツク州	9月9日～18日	5月14日(月)
沿海地方	9月9日～18日	5月14日(月)
東部ニューギニア	9月19日～26日	5月25日(金)
北ボルネオ	9月26日～10月2日	6月14日(水)
ビスマーク諸島	10月24日～31日	6月22日(金)
ミャンマー	11月13日～20日	7月10日(火)
パラオ諸島	来年1月23日～30日	9月14日(金)
フィリピン	2月13日～20日	9月28日(金)

※硫黄島は未定。詳しくは問い合わせてください。

地域の医療連携の中核を担う

りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

糖尿病・内分泌代謝内科  
部長兼リハビリテーションセンター副センター長 檜根 晋



りんくう総合医療センター糖尿病・内分泌代謝内科では、糖尿病、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病を中心に診療しています。また甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患についても診療を行っています。現在、常勤医師は5人で外来および入院患者さんの診療を行っています。

糖尿病患者は近年増加傾向にあり、当院においても多くの患者さんの診療に当たっています。糖尿病は早期発見、早期治療が最も大切です。逆に糖尿病を長年放置し、合併症が進行すると治療に難渋することがしばしばです。健康診断で糖尿病を疑われた人、まず病院を受診していただくようにお勧めしています。

糖尿病の治療としては食事療法、運動療法、薬物療法をバランスよく行っていくことが重要です。しかし、糖尿病のコントロールを長期間にわたり良好に保つことは難しいです。食事、運動などは各個人の生活習慣に密接に関係しています。このため、糖尿病のコントロールを良好に行っていくためには、生活習慣にまで立ち入ったコントロールが必要であり、これが糖尿病治療が難しいといわれる理由です。

このような生活習慣全般の改善を目標とするため、当院においては医師だけでなく、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士などがそれぞれ職種の特徴を生かして相談、指導させていただきま。糖尿病の治療は長期にわたるため、途中で息切れしないように治療を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

NICU/GCU病棟  
看護師長 松本由美



みなさん、産科が舞台となったテレビドラマ「コウノドリ」をご覧になったことはありませんか。あのドラマと同じような世界が、当院でも展開されています。今日は当院の事を紹介します。

NICUとは新生児集中治療室であり、少し早く生まれた赤ちゃんや小さく産まれた赤ちゃんに対して、高度な医療処置を行う所です。NICUは、お母さんのお腹の中の環境に近づけるために照明は暗く、室温・湿度も高めに保ち、騒音などにも注意しながら、赤ちゃんが過ごしやすい静かな環境作りを行っています。24時間ご両親の面会が可能であり、赤ちゃんの経過に合わせてご両親にタッチングや抱っこなどの育児参加を促し、赤ちゃんのご両親の関係作りができるように支援しています。GCUは、新生児治療回復室であり、NICUで急性期を過ごした赤ちゃんが退院するまでの時間を過ごす所です。NICU・GCUの看護では、赤ちゃんの全身管理はもちろんのこと、沐浴やミルクなど成長を促すためのサポートを行っています。ご両親の精神的なケアにも目を向け相談に応じています。時には、退院後も酸素管理が必要な赤ちゃんもいるため、赤ちゃんの個性にあった育児指導を行っています。

また、ご両親が安心して家に帰れるように、外来や地域の保健センターと連携をし、退院支援も行っています。私たちスタッフは、ご両親が自信と喜びをもって育児ができるように、これからも支援していきたいと思ひます。